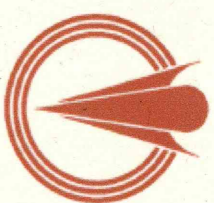


# 小川町ゼロカーボンシティ宣言

—2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けて—



埼玉県のはほぼ中央に位置し、外秩父山系の山々に囲まれる「小川町」は、面積の約55%が森林で自然に恵まれた緑豊かな町です。また、盆地に展開する本町には、笠山・堂平山に源をもつ槻川、市街地を貫流し河川へ流入する本川、八和田地区を流れる市野川の3つの主要な河川があります。これらの豊かな森林、清流があったことで、本町は古くから、和紙づくりや酒造り、絹織物や建具などの地場産業が栄えていました。

また、本町では、公共施設への太陽光発電設備や高効率空調設備の導入、廃食油をバイオディーゼル燃料として再資源化するなど、二酸化炭素排出抑制対策に積極的に取り組むとともに、「LOGAWA'N Project」として、有機農業を始め、町の資源を活用した地域循環型農業を応援し、持続可能な環境保全型の農業を推進しています。

気候変動問題は世界規模での対応が求められており、地球上に生きる全ての生き物にとって避けることのできない喫緊の課題です。課題解決には「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

近年本町においても、集中豪雨や台風の巨大化等による自然災害が頻繁に発生し、森林における土砂崩れ、河川の氾濫など、激甚な災害を及ぼしており、さらなる二酸化炭素排出削減の取組が必要です。

このようなことから、本町の豊かな自然を子供たちやその先の世代へ引き継ぐため、SDGs（持続可能な開発目標）の取組や二酸化炭素の吸収源である森林の整備を行い、2050年までに二酸化炭素実質排出量を指す「ゼロカーボンシティ」を宣言します。今後、町民及び事業者の皆様のご協力をいただきながら、小川町が一丸となって「ゼロカーボンシティ」を実現できるように取り組んでまいります。

令和3年2月12日

小川町長

松本恒夫



おかわ  
紙のふるさと  
小川町